

4.5 注目すべき種の分布状況

【内水面漁業と関わりのある鳥（カワウ）の確認状況】

(鳥類調査)

- ・ カワウを全国の河川で確認

アユ、アマゴ、ニジマス等を食害し、内水面漁業に被害を与えているカワウの確認状況を整理しました。

カワウは、今回とりまとめを行った一級河川、中部地方の矢作川、中国地方の天神川、九州地方の本明川、球磨川のすべての河川で確認されました。

(資料掲載：4-34～35、4-39～40 ページ)

カワウは、内湾部や内陸の淡水、河川、湖沼などに生息し、その近くの林などで集団繁殖します。一年を通して群れで生活し、水かきのついた足を使い、尾を舵にして巧みに潜水し、魚類や甲殻類を捕らえます。一時は個体数の減少が心配されたこともありましたが、近年増加し、一部の地域では放流されたアユ、アマゴ、ニジマス等を食害し、内水面漁業に被害を与えている例も知られています。

カワウは、今回とりまとめを行った一級河川、中部地方の矢作川、中国地方の天神川、九州地方の本明川、球磨川のすべての河川で確認されました。確認範囲をみると、ほとんどの河川で河口から上流まで広範囲で確認されました。特に球磨川の下流域で確認個体数が多い傾向がみられました。

1～4巡目調査全体での確認状況を比較すると、調査実施河川数に占める確認された河川数の割合は1巡目調査から4巡目調査にかけて漸増しています。1巡目から2巡目、3巡目にかけて、中部地方を中心に南北に分布を広げ本州以南のほとんどの河川に分布するようになり、確認個体数も増えています。4巡目調査においても、北海道地方の湧別川、網走川、後志利別川、沙流川、東北地方の子吉川で、河川水辺の国勢調査でははじめて確認され、北方に向かってさらに分布域が拡大している傾向がうかがえました。

1～4巡目調査の確認河川数の比較

種類	1巡目調査 (81河川)	2巡目調査 (118河川)	3巡目調査 (122河川)	4巡目調査 (72河川)
カワウ	59河川 [72.8%]	98河川 [83.1%]	109河川 [89.3%]	70河川 [97.2%]

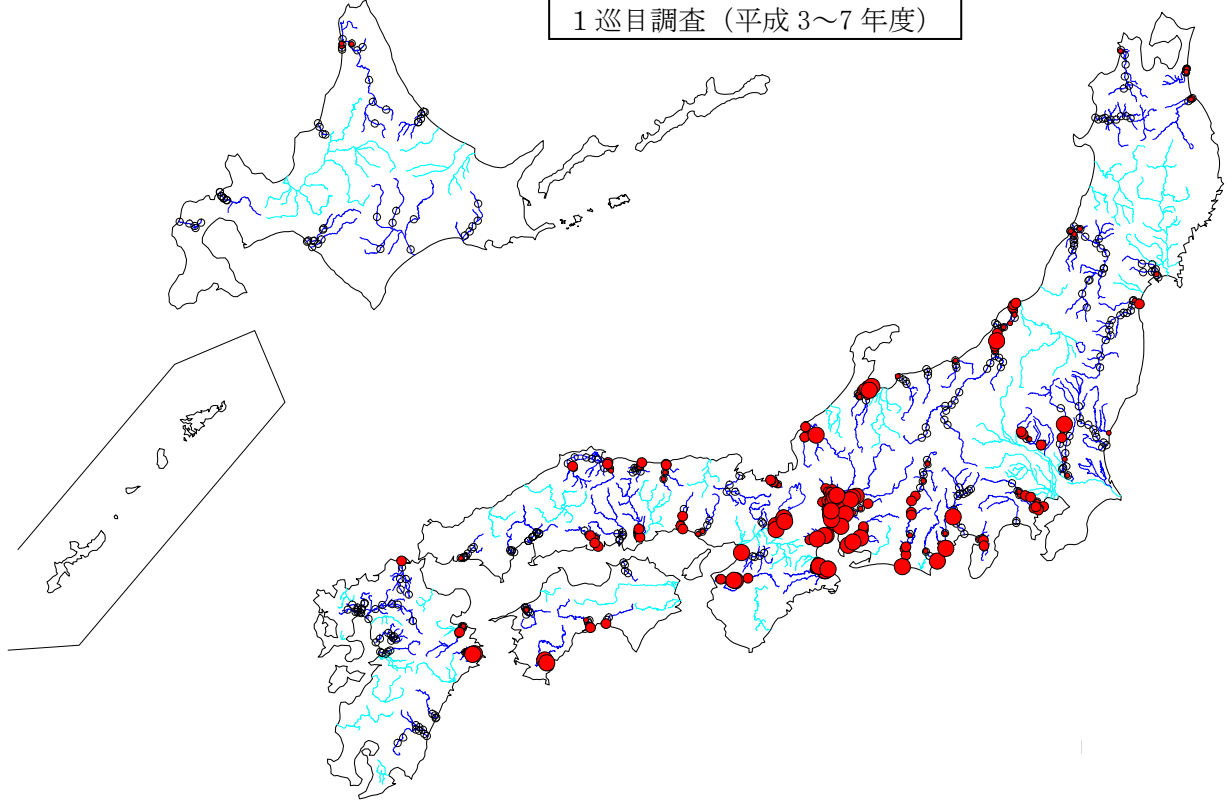
注1: 確認河川数の比較は、直轄管理区間のデータを対象とした。

注2: 1～3巡目調査のデータは調査実施全河川のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象とした。

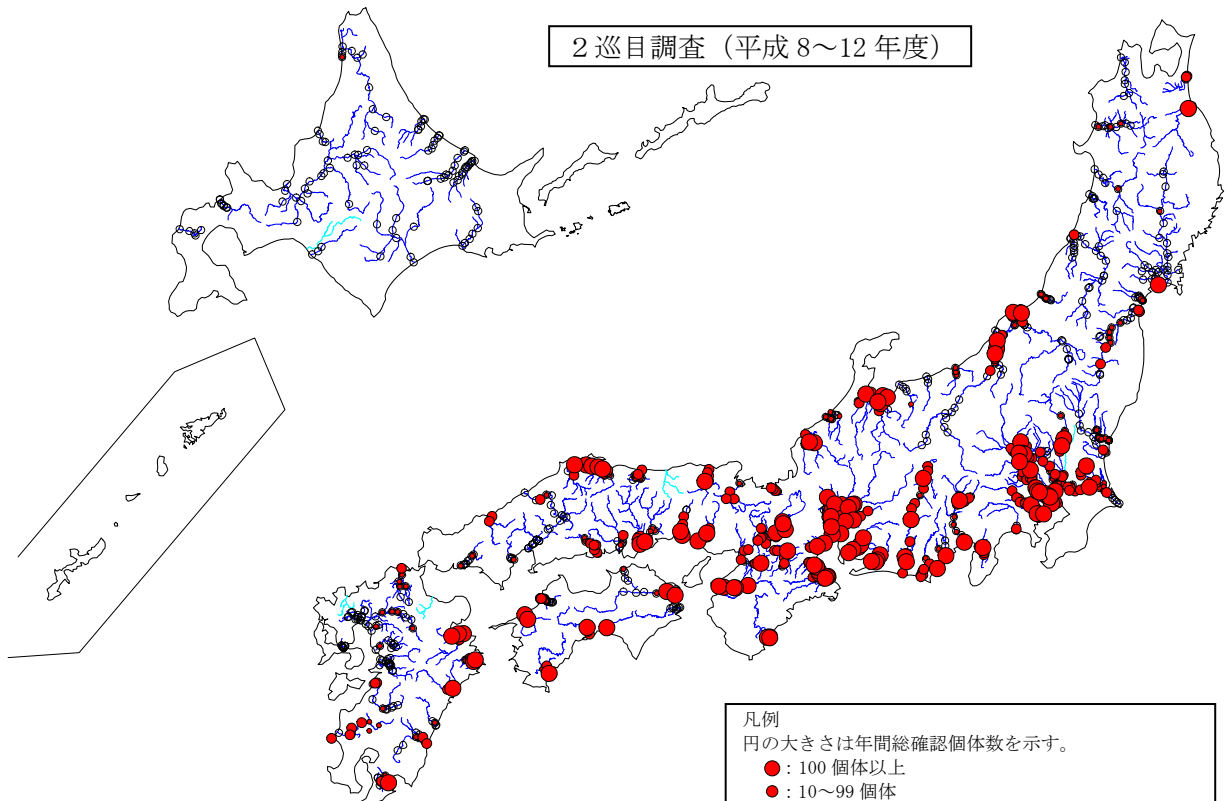
注3: () 内は調査実施河川数を示す。

注4: [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合(%)を示す。

1 巡目調査 (平成 3～7 年度)



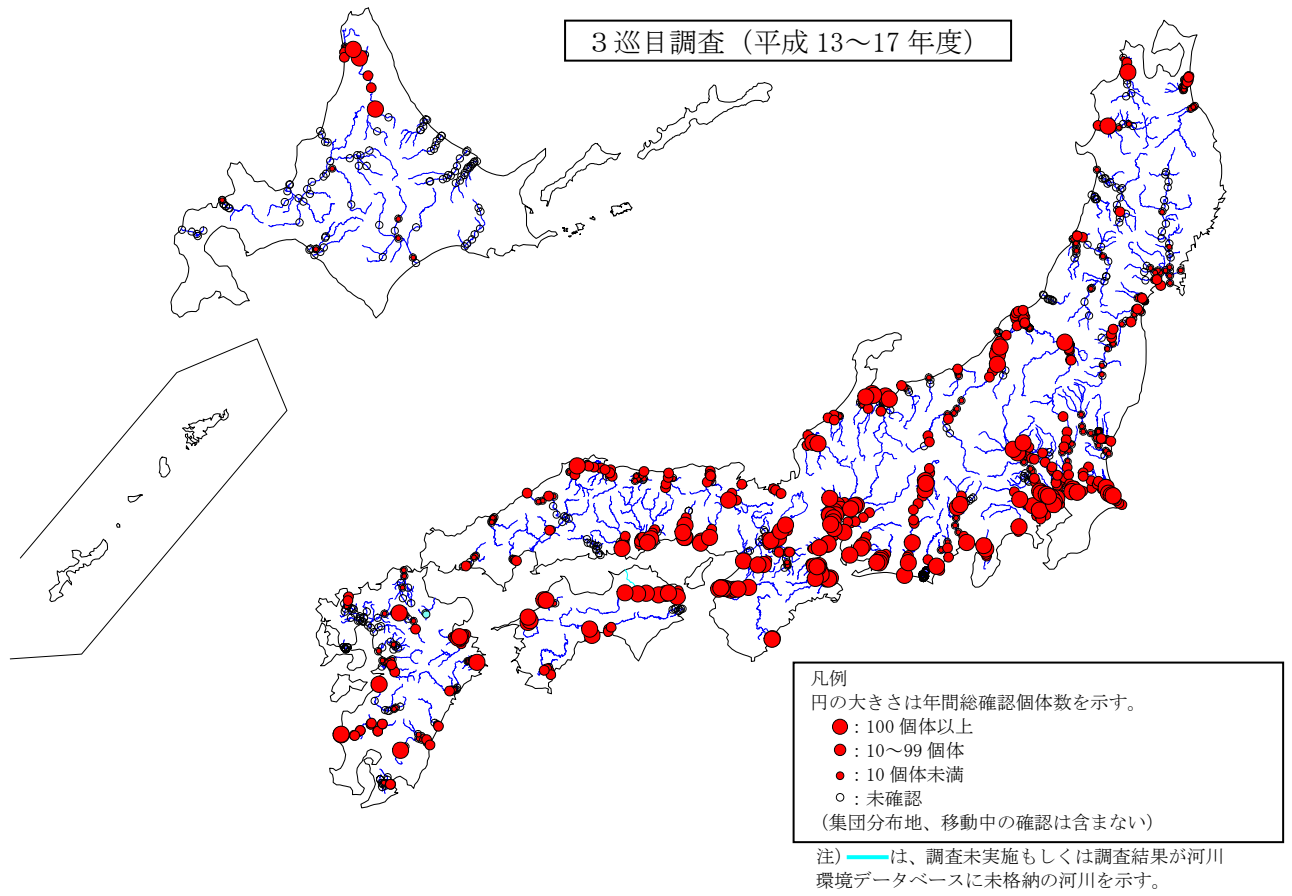
2 巡目調査 (平成 8～12 年度)



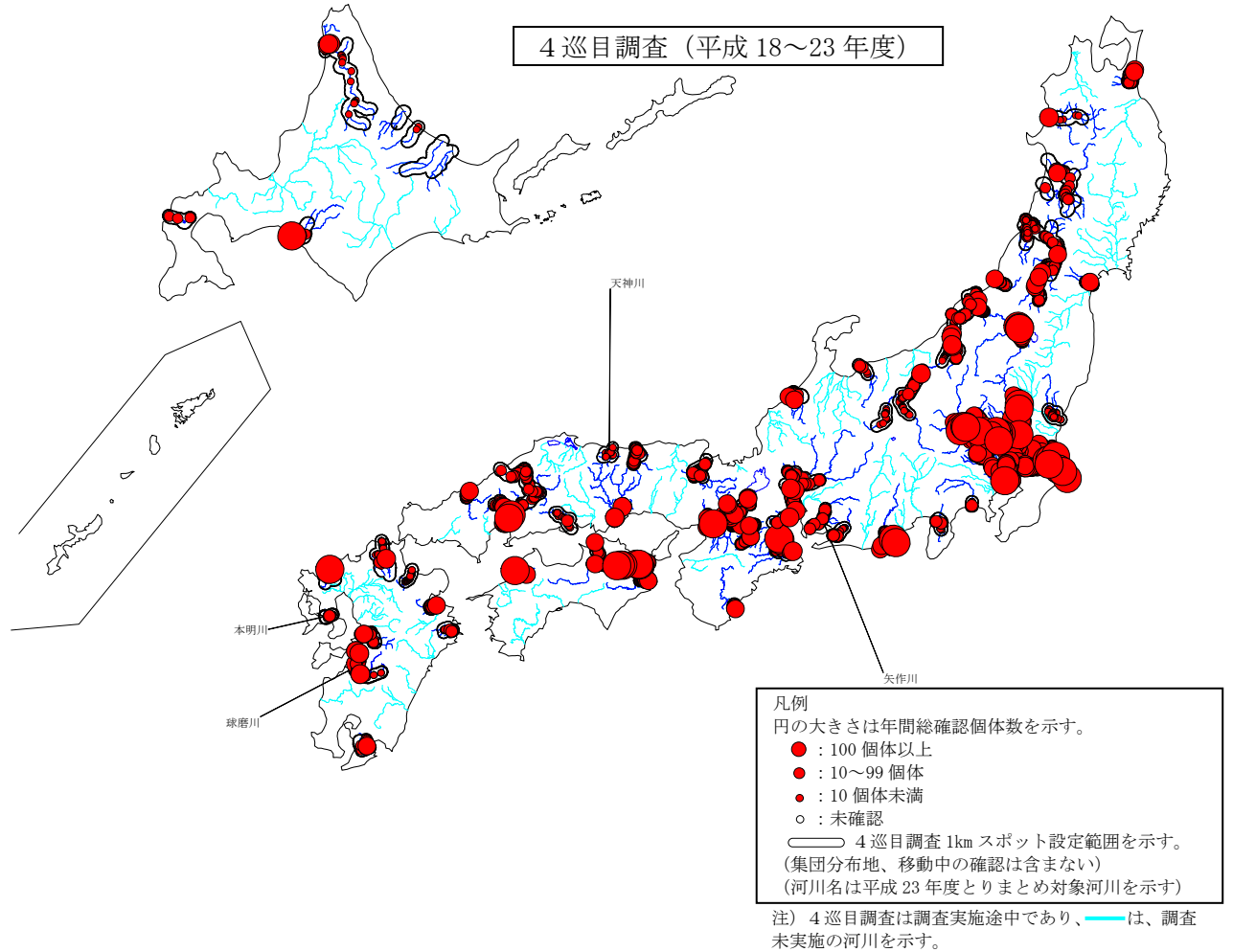
凡例
円の大きさは年間総確認個体数を示す。
● : 100 個体以上
● : 10～99 個体
● : 10 個体未満
○ : 未確認
(集団分布地、移動中の確認は含まない)

注) 青線は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

カワウの確認地区 (1 巡目調査、2 巡目調査)



カワウの確認地区 (3 巡目調査)



カワウの確認スポット (4 巡目調査)

・ **猛禽類のミサゴはとりまとめ対象一級河川 4 河川すべてで確認**

水辺の食物連鎖の上位種として、魚を主な餌とし水辺に関係の深いミサゴの確認状況を整理しました。

ミサゴは、今回とりまとめを行った一級河川、中部地方の矢作川、中国地方の天神川、九州地方の本明川、球磨川すべてで確認され、おおむね河川の下流から上流までくまなく分布していることが分かりました。また、全国の水系において、内陸側へ分布が拡大している傾向がみられました。

(資料掲載： 4-37～38、4-39～40 ページ)

ミサゴは、魚を主な餌とする猛禽類で、河川や湖、海岸などに生息しています。環境省の第4次レッドリスト(2012)では準絶滅危惧種に指定されています。ミサゴは、今回とりまとめを行った一級河川、中部地方の矢作川、中国地方の天神川(移動中の確認)、九州地方の本明川、球磨川すべてで確認され、おおむね河川の下流から上流までくまなく分布していることが分かりました。ミサゴが上流まで確認された河川は、採餌が行えるような広い水面やあるいは豊かな魚類資源を保った場所として注目できます。

1～4巡目調査全体での確認状況を河川・ダム湖を合わせて比較すると、確認河川・ダム数が増加する傾向がみられました。また、4巡目調査は調査途中ですが、調査実施河川数・ダム湖数に占める確認された河川数、ダム湖数の割合は3巡目と同程度で定着している傾向がうかがえました。

1～4巡目調査の確認河川・ダム数の比較

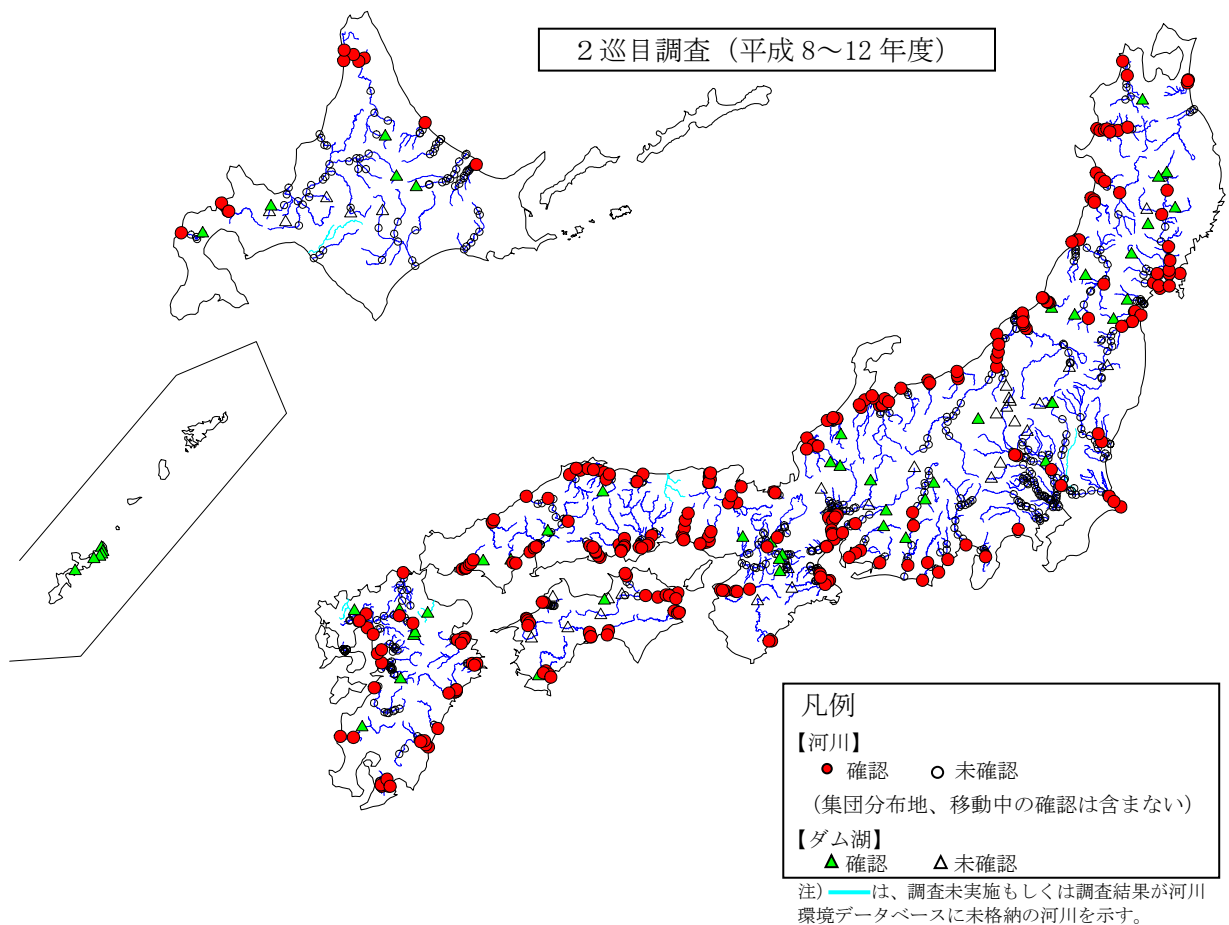
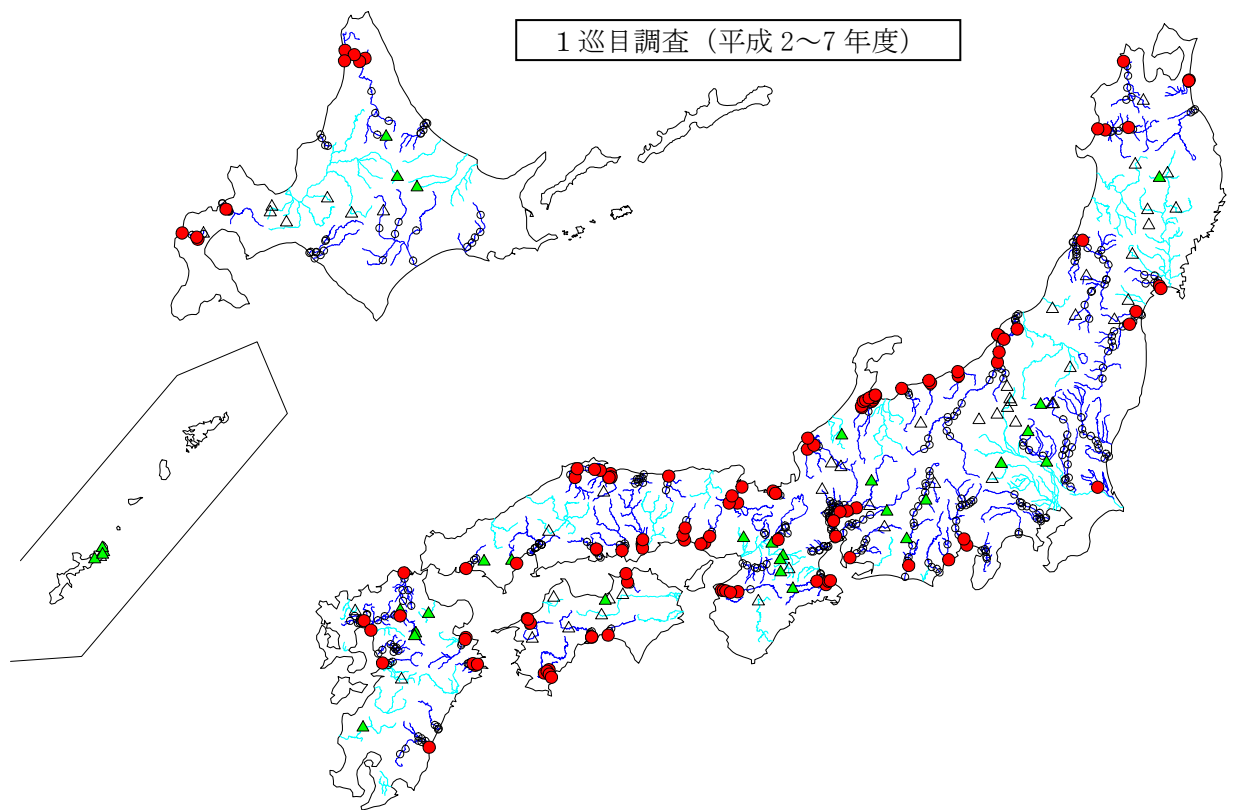
種類	1巡目調査 (81 河川) (81 ダム)	2巡目調査 (118 河川) (83 ダム)	3巡目調査 (122 河川) (96 ダム)	4巡目調査 (72 河川) (66 ダム)
ミサゴ	54 河川 〔66.7%〕	94 河川 〔79.7%〕	113 河川 〔92.6%〕	66 河川 〔91.7%〕
	31 ダム 〔38.3%〕	52 ダム 〔62.7%〕	66 ダム 〔68.8%〕	49 ダム 〔74.2%〕

注1; 確認河川数の比較は、直轄管理区間のデータを対象とした。

注2; 1～3巡目調査のデータは調査実施全河川のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象とした。

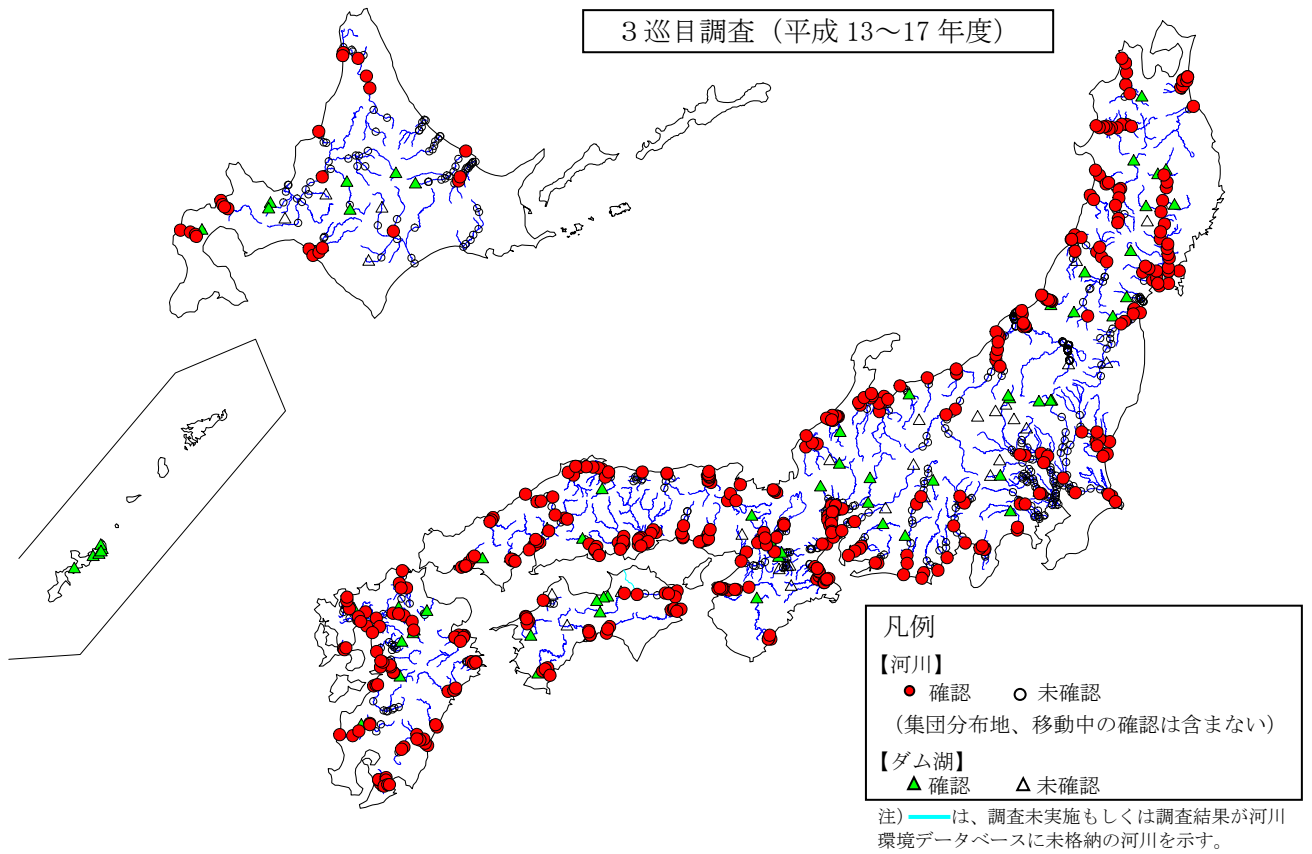
注3; () 内は調査実施河川数を示す。

注4; [] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合(%)を示す。



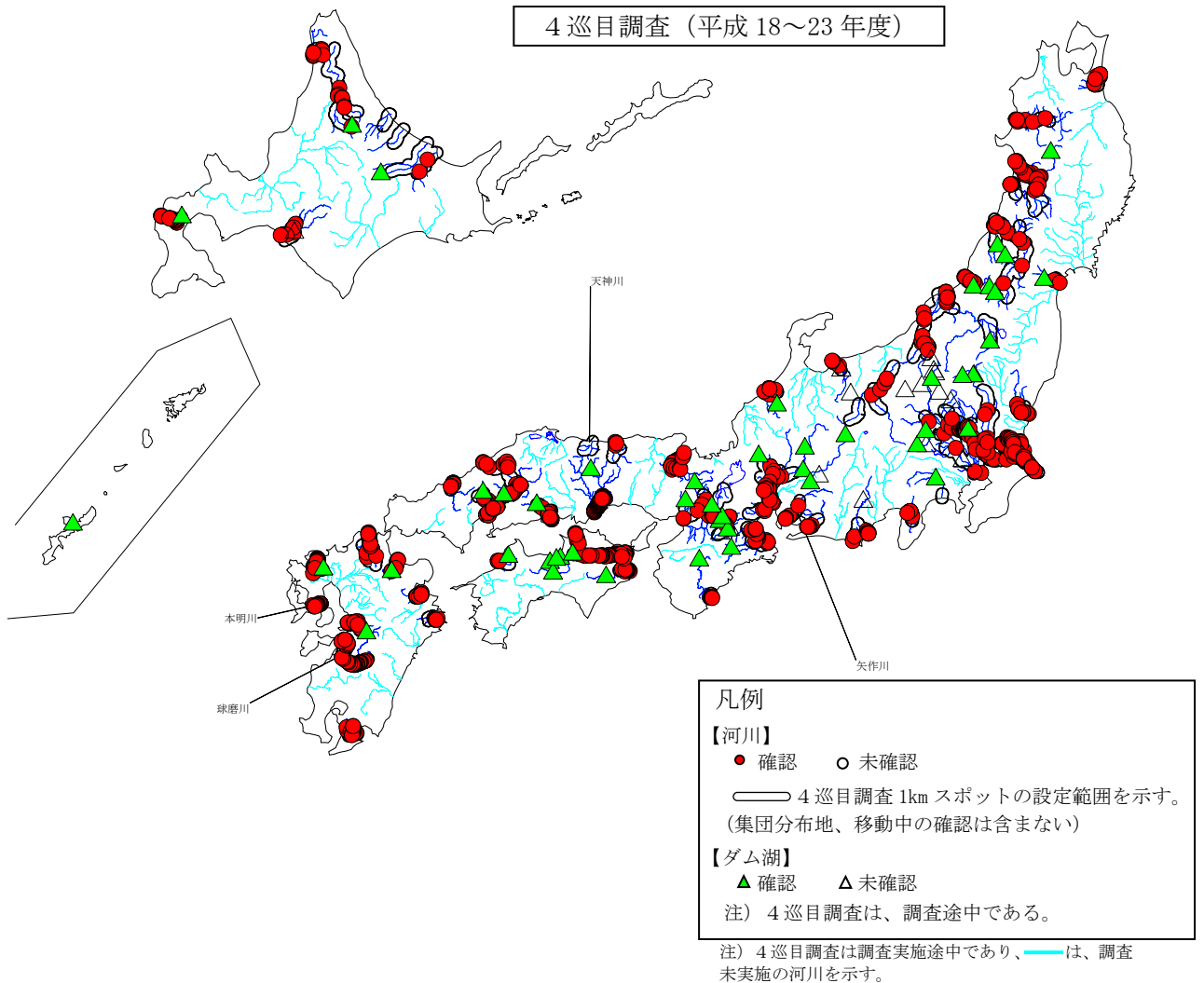
ミサゴの確認地区 (1 巡目調査、2 巡目調査)

3巡目調査（平成13～17年度）



ミサゴの確認地区（3巡目調査）

4巡目調査（平成18～23年度）



ミサゴの確認スポット（4巡目調査）